

## 市立函館病院の入院患者数の推移と医療需要指数の変化

平成 24 年 7 月 4 日

病院局長 吉川修身

### 過去 5 年間における入院患者数の内訳

	延 新 入 院 患者数	実入院患者数			年度末現在近隣人口	
		内 1 回入院	内複数回入院		内 75 歳以上	
H19 年度	8,407	6,421	5,194	1,227	366,250	43,301
H20 年度	9,065	6,567	5,133	1,434	363,211	44,836
H21 年度	10,500	7,336	5,668	1,668	360,569	46,269
H22 年度	10,866	7,656	5,926	1,730	357,918	47,899
H23 年度	11,177	7,604	5,936	1,668	354,699	49,176

近隣人口：函館市・北斗市・七飯町

DPC(様式 1)を使用しているが、データの性質上退院年度で集計するため、公表数とは異なる。

年度をまたいで複数回入院している場合は、それぞれの年度でカウントしている。

平成 20 年度から 21 年度にかけて、延べ入院数で 1,435 人の増、実患者数で 769 人増と大きく伸びているが、以後は 300 人の増で、平成 23 年度では実入院数は減少している。

近隣総人口数は、毎年 3,000 人近くずつ減少しているが、75 歳以上は、1,400 人くらいずつ増えている。

	平均在院日数	平均入院患者数	救急入院件数 データベース / 実数	救急入数/新規入数 % 公表数
H19 年度	19.4 日	494 人	2885 / 2932	8456 / 34.1% / 34.7%
H20 年度	16.5 日	444 人	2440 / 2521	9170 / 26.6% / 27.5%
H21 年度	15.3 日	472 人	2889 / 2954	10672 / 27.1% / 27.7%
H22 年度	15.4 日	492 人	3159 / 3230	11050 / 28.6% / 29.2%
H23 年度	14.4 日	469 人	2972 / 3023	11183 / 26.6% / 27.0%

新規入院数は、公表数で上記データでの、DPC からの呼び込み数と少し異なる

平成 20 年度以降から、救急入院患者数の全体での占める割合が減少し、通常入院数割合が増えた。しかし、これは平均在院日数の減少で複数回入院数が増えたことと関係がある。

何故か救急入院件数が減少すると、平均入院患者数は減少する傾向にある。

## 医療需要予測(H17 国調ベース)

### 函館圏（函館市・北斗市・七飯町）

区分	H17年 2005年	H22年 2010年	H27年 2015年	H32年 2020年	H37年 2025年	H42年 2030年	H47年 2035年
総人口	370,744	356,267	340,017	321,220	300,787	279,489	257,752
0～64歳	283,883	261,818	234,513	211,040	192,705	175,171	157,343
65～74歳	47,204	47,259	53,302	53,959	44,699	38,856	38,136
75歳以上	39,657	47,190	52,202	56,221	63,383	65,462	62,273
医療需要 指数	623,780	639,545	655,429	654,022	643,717	619,049	583,116
増減率		1.9	2.0	△0.9	△2.3	△4.9	△5.8

人口推移は、H17の国勢調査に基づく推計値で、平成22年度は、上記の年度末人口数とほぼ一致する数字となっている（推計値356,267→357,918、75歳以上推計値47,190→47,899）

医療需要指数の算出は、医療需要指数＝（0～64歳人口）×1＋（65～74歳人口）×3＋（75歳以上人口）×5 として計算（文献：病院70（8）；人口減少時代の病院経営戦略、599～60、2011より）この地域の医療需要指数の最大値は平成27年である。

### 北斗市

区分	H17年 2005年	H22年 2010年	H27年 2015年	H32年 2020年	H37年 2025年	H42年 2030年	H47年 2035年
総人口	48,056	48,215	47,662	46,676	45,936	43,905	42,187
0～64歳	38,602	37,783	35,731	33,683	32,135	30,303	28,266
65～74歳	5,247	5,346	6,215	6,762	6,049	5,754	6,119
75歳以上	4,207	5,086	5,716	6,231	7,212	7,848	7,802
医療需要 指数	75,378	79,251	82,956	85,124	86,342	86,805	85,633
増減率		5.1	4.7	2.6	1.4	0.5	△1.4

市立函館病院の入院患者の6割は函館市内から、3割は北斗市・七飯町からである。

北斗市の医療需要指数の最大値は平成42（2030）年にある。七飯町は、平成37（2025）年である。函館市は平成27年である。

これらの推計値から推計すると、人口は減少しても市立函館病院の入院患者数は、平成37（2025）年くらいまで、救急入院数を維持している限り極端に減ることはない。